

馬込便り

日本聖公会東京教区 大森聖アグネス教会



246号

2024年4月28日発行
編集・印刷：
馬込便り編集グループ

日本聖公会 東京教区 大森聖アグネス教会
管理牧師 司祭 シモン・ペテロ 上田憲明
〒143-0025 東京都大田区南馬込 1-58-8
Tel&Fax (03) 3771-3459
Eメール: agnes.tko@nssk.org
ホームページ: www.nssk.org/tokyo/church/oomori/



巻頭言

管理牧師..

司祭 シモン・ペテロ 上田憲明



みなさま、こんにちは。三光教会
牧師、真光教会および大森聖アグ
ネス教会管理牧師の上田憲明です。大
阪生まれの大阪育ち。一九八二年関
西大学文学部英文科を卒業し、聖公
会神学院も卒業後、一九八五年には
伝道師として横浜山手聖公会に勤務。
一年三ヶ月後には横浜聖アンデレ教
会に勤務。その間に、一九八七年七
月に、執事接手。一九八八年四月か
ら一九九一年六月までは、また横浜
山手聖公会で勤務をしていました。
聖公会神学院で、高木亜樹子と出
会い、一九八六年十一月に結婚しま
した。当時、聖公会では、厳密な意
味での女性牧師はいなかった中で、
女性で、結婚もして、牧師にもなり
たいと公に言い始めたのは、妻の亜

樹子が初めてでした。いろいろなこ
とがあったのですが、最終的には当
時、亜樹子は日本聖公会の中で牧師
になれなくなってしまったので、そ
の頃もう既に、女性の牧師が活躍し
ていたアメリカに行つて、牧師にな
ろうという道を探り始めました。一
九九一年には、亜樹子はボストンの
隣町ケンブリッジ市にある聖公会の
神学校に入学し、私も横浜教区に休
職届けを出し、その地へと移り住み、
生活費のためアルバイトをし、日本
語での電話相談と日本語礼拝をボラ
ンティアでやっていました。

三年後、一九九四年に亜樹子が卒
業して、ハワイで亜樹子は病院のチ
ャプレンの研修を受け、病院チャプ
レンの経験を積む四年を過ごし、私
の方は、その間、英語の礼拝のお手
伝いと日本語礼拝、またハワイでも
日本語電話相談をボランティアでし、
いろいろなアルバイトをしていまし
た。ハワイで亜樹子が病院の仕事を
やめたので、今度は、自分の研修に
もなるし、私も亜樹子と同じような
過程を二年間経た後、二年弱でした
が、クアキニ病院の専任チャプレン
を二〇〇二年十一月までさせていた
だいていました。

一九九八年には日本聖公会でも女
性司祭が認められました。私たちの
方でも、亜樹子が執事接手、司祭接

手を受け、二〇〇一年にはハワイア
ンの人たちが多い小さな教会の牧師
になっていたのですが、立教大学の
チャプレンにならないか?と3度目
にお話をいただいた時に、日本に帰
つて来る決意をしました。

二〇〇三年に日本に帰つてくると、
私は聖路加国際病院の当時のチャプ
レン、井原司祭からぜひ手伝つてと
いうことで、手伝い始めましたが、
井原司祭は二〇〇五年に亡くなられ、
実質上、聖路加国際病院のチャプ
レンの仕事フルタイムでやるよう
になり、二〇〇七年に司祭接手を受け
ました。

私の母親は、大阪に一人で住んで
おり、認知症が段々と進んできたの
で、一旦聖路加を辞めて、二〇一二
年からは大阪に住みました。二〇一
三年には、桃山学院中学校高等学校
のチャプレンと大阪聖アンデレ教会
の副牧師をさせていただきました。
二〇一四年十月からは再び聖路加に
戻り、その後ケビン司祭が辞めてか
らは、再び主任チャプレンとしてこ
の三月に定年退職になるまで、働か
せていただきました。今回、管理牧
師として大森聖アグネス教会に関わ
らせていただくことになりました。
どうぞ、よろしくお願いいたします。